

内容をご熟読ください



二輪車専用

盗難抑止機

セキュリティ ペイジャー

SP-2

取扱説明書

本商品は車両の盗難、イタズラを完全に防止するものではありません。

車両の保管、駐車時には機械式ロックを併用していただき、バイクカバーを装着して盗難の予防を心がけるようお願い致します。

取り付けミスは誤作動や車両の電装品に悪影響を与える原因となります。

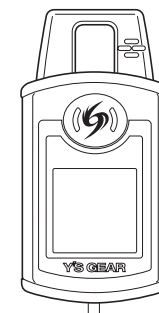
車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

この度はセキュリティ ペイジャー SP-2 を
ご購入いただきまして誠にありがとうございます。
ございます。

本書に記した注意事項は、本商品を安全か
つ正しくご使用していただき、事故や損害
を未然に防止するための大切なものです。

ご使用の前に、本書をよくお読みいただき、
正しくご使用ください。

本書はなくさないよう、大切に保管してお
いてください。



- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、株式会社ワイズギアまでご連絡ください。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は2010年2月1日現在のものです。

YS GEAR は株式会社ワイズギアの商標です。

目次

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意	5
使用上の注意	5
梱包物をご確認ください	7
梱包物	7
リモコンについて	8
相互通信機能	8
リモコンの充電方法	9
リモコンの再起動方法	11
特長と機能	12
●標準センサについて	12
2段階衝撃センサ	12
傾斜センサ	12
イグニッション警報	13
電源切断警報（オプション）	13
異常通知	14
●サイレン・音に関する機能	16
サイレン	16
サイレン時間選択	16
サイレントモード	16
動作確認音消音機能	16
リモコン音変更	16
●異常確認に関する機能	17
動作確認LED	17
●便利な機能	18
強制サイレン（パニックサイレン）	18
迷惑防止機能	18
レジャーモード	18
省電力モード	19

目次

リモコンの操作方法	20
リモコンの電源を入れるには	20
リモコンの電源を切るには	20
システム作動させるには	21
システムを解除させるには	23
省電力モードから復帰させるには	24
鳴っているサイレンを止めるには	24
強制的にサイレンを鳴らすには（強制サイレン）	25
リモコンの誤操作を防止するには（ボタンロック）	26
リモコンでのセンサ設定と機能設定について	27
設定項目	28
トラブルシュート	36
保証とアフターサービス	38
お問い合わせ先	41

お取り扱い上の注意

本商品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。

⚠ 危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。

注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項。

🚫 禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。

ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒントなどを説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさせることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒントなどを説明。

お読みください

強制・制約・指示等を表す記号。

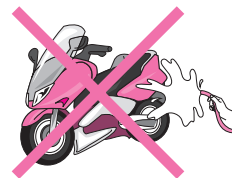
※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

お取り扱い上の注意

安全上の注意

⚠ 警告

- メインユニット、サイレンを取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。
ショートをし、感電や機器が故障する可能性があります。
- リモコンはお子様の手が届かないところに保管してください。
システムを解除してしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
- メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある販売店にて行なってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。
知識のない方が取り付けを行なうと車両、システムの故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。
- 本商品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。
商品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する可能性があります。また、分解および改造変更を行なった商品の保証は一切してありません。



使用上の注意

推奨バッテリー容量6.5Ah以上

※グリップヒーター、ETC、ナビゲーションシステム等のアクセサリー装着車は、バッテリー消費が早まる可能性があります。

※本製品は常時微弱電流を消費します。定期的にバッテリー維持充電器等で補充電を行うことをお勧めします。

(1) 適応車種

取付可能な車種は、下記条件を全て満たしている車種に取り付け可能になります。

注意

- DC12V車両専用
6V車両には装着できません。

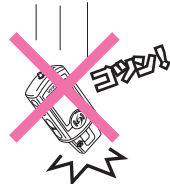


●本商品は、車両からの電源供給によって作動します。バッテリーの状態を確認してご使用ください。バッテリーが古かったり、電圧が低い場合には、車両のセルモーターが駆動しなくなり、エンジン始動ができなくなります。日頃からバッテリーの状態を確認し、十分なメンテナンスを行なってください。

(2) リモコンの取り扱いに関する注意

注意

- リモコン本体を強い力で押したり、曲げたりしないでください。内部部品の破損やリモコンの通信エラー等の故障原因となります。
- リモコンは落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
- リモコンは完全防水性ではないため内部へは絶対に水などが浸入しないように十分注意してください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。
また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
- 持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- 電池は使用場所の温度の影響を受け易い性質を持っています。例えば冬に寒い場所で使用した場合、暖かい場所に比べると電池残量の表示が減りやすい傾向になりますが、室内に入ると温度が上がると、減っていたはずの電池残量の表示が増えることがあります。



お取り扱い上の注意

- リモコンをオートバイのキーに取り付けしないでください。
振動や水入りにより故障の原因となります。
- 電池は消耗品です。電池の寿命は使用状況にもよりますが、およそ2年～3年です。
お客様での交換はできません。著しく動作時間が短くなった場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- この装置は、電波法に基づく特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許申請は不要です。したがって次のことを厳守してください。
- 商品に付いているラベルは、技術基準適合証明のしるしです。
このラベルを絶対にはがさないでください。
- 表示ラベルの付いている商品を分解したり、改造して使用することはできません。
- 不法に改造して使用すると、法律により罰せられます。
- 本商品は、日本国内専用であり、外国では使用できません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.
外国では、電波法が異なり違法となります。



(3) 使用方法についての注意

注意

- 本商品は、低消費電力設計がされておりますが、長時間車両を使用されない場合は、スターターモーターが駆動せず、エンジン始動ができなくなる可能性があります。バッテリーのメンテナンスを定期的に行ない、車両本体のエンジン始動状況等を日頃から十分にご確認ください。
- 本商品の警告音、サイレンは、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切な感度にてご使用ください。
- 何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であっても強制サイレンにより警報（サイレン）が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンにより解除してください。
- 本商品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本商品はメインユニットは防水仕様ですが、故意に水をかけないでください。
- 本商品は電波を使用している性質上、周囲の環境（建物などの障害物、強力な電波や電磁波の影響など）や車両のバッテリー状態、リモコンの電池の充電状況によっては、通信のエラー等や混信を受けます。また通信距離にも影響が出ます。

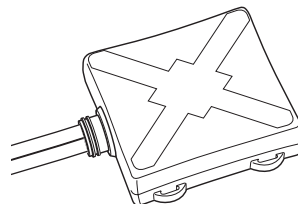


お読みください

- 本商品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 本商品の取り扱いにより、お客様に不利益な状況が発生しても、当社では責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 当社では商品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 取り付けの前に必ず、梱包物をご確認ください。
- 本商品の仕様、デザインおよび価格は予告なく変更される場合があります。
- 本商品は予告なく販売終了させていただく場合があります。

梱包物をご確認ください

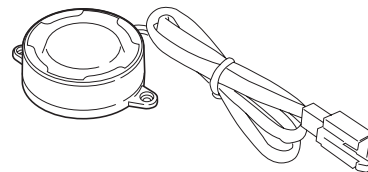
梱包物



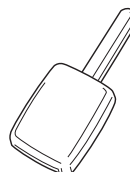
メインユニット×1台



専用リモコン×1個



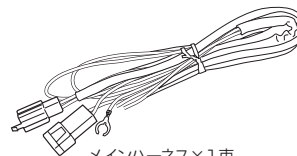
サイレン×1個



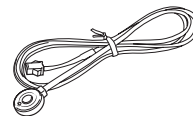
アンテナ×1個



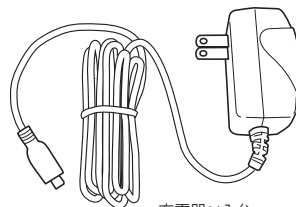
アンテナハーネス×1束



メインハーネス×1束



スイッチ付
動作確認LED×1個



充電器×1台

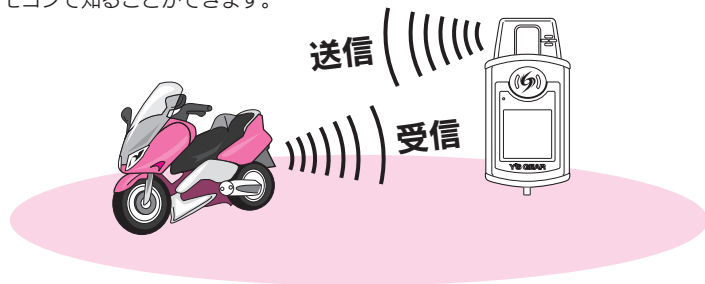
その他

- ・取扱説明書×1部
- ・取付説明書×1部
- ・結束バンド×2本
- ・両面テープ×1枚
- ・ジョイント端子×2個

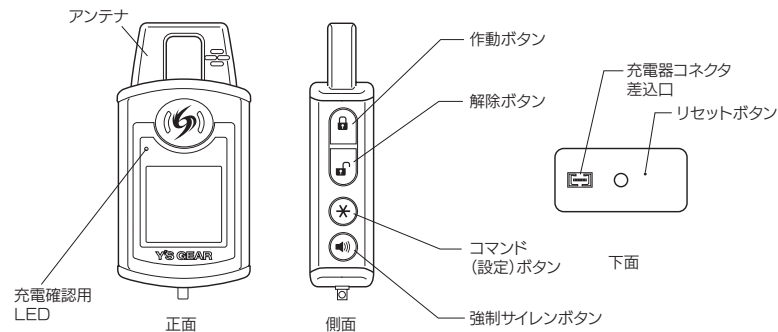
リモコンについて

相互通信機能

リモコンを操作することでシステムの作動／解除や機能設定変更はもちろん、それらの操作完了を手元のリモコンで確認することができます。また、愛車の異常の確認も手元のリモコンで知ることができます。



●リモコンの各部名称



注意

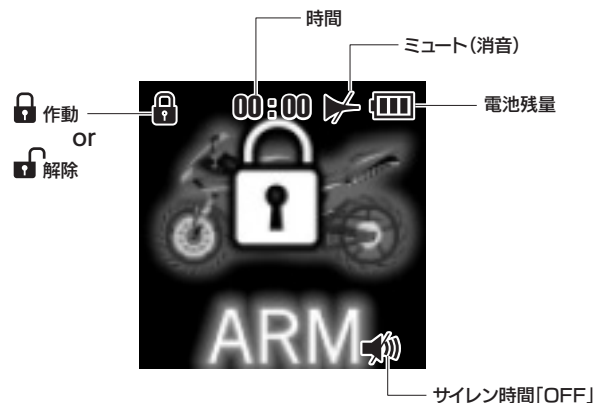
●リモコン本体を強い力で押したり、曲げたりしないでください。内部部品の破損やリモコンの通信エラー等の故障原因となります。

ヒント

●リモコン画面には保護フィルムが貼ってあります。

リモコンについて

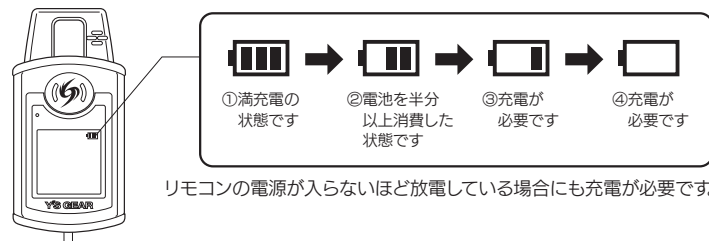
●液晶表示アイコンの説明



リモコンの充電方法

・リモコン電池の充電確認方法

- ① ● ボタンを1回（1秒ほど）押します。
——3秒以内に次の操作を行ってください。
- ② * ボタンを1回（1秒ほど）押すと、約2秒後にリモコンに🔒（ARM）または🔓（DISARM）と表示されたあと、リモコン画面右上に電池残量が表示されます。



リモコンの電源が入らないほど放電している場合にも充電が必要です。

ヒント

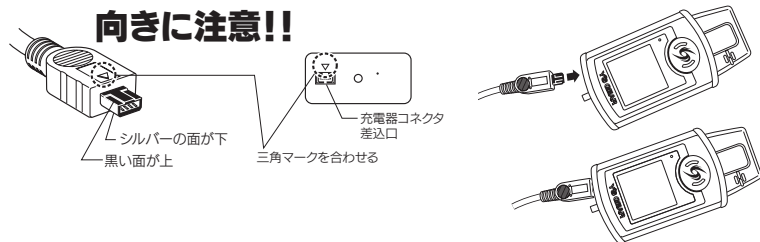
電池残量の表示が🔋になると、リモコンから「ピピッ」と定期的に音が鳴ります。充電してください。

・リモコンの充電方法

ヒント

はじめてお使いになる時や、長期間ご使用にならなかった時は、必ず充電してからお使いください。
1週間に1回程度充電してください。送受信の回数が多い場合は充電回数を増やしてください。
長期間使用されなかった場合は、充電時間が長くなる場合があります。

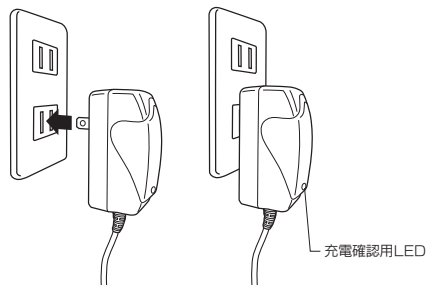
①充電器のコネクタをリモコンの充電器用差込口に差し込みます。



注意

充電器のコネクタの向きに注意して差し込んでください。充電器のコネクタ及びリモコンの充電器コネクタの赤色三角マークの向きを合わせて差し込んでください。強引に差し込みますとリモコン及び充電器が破損し、充電できなくなる恐れがあります。

②充電器を家庭用コンセント
(AC100V) に差し込みます。
充電中は、リモコンの充電確認用
LEDが赤色に点灯します。
充電時間の目安は約2.5時間です。



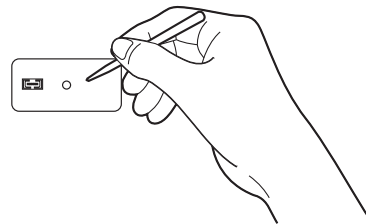
③充電終了後や、充電を行って
いないときには充電器をコンセ
ントから抜いておいてください。

ヒント

充電中、リモコンや充電器があたかくなる場合がありますが、異常ではありません。
充電中の操作は、電池の劣化の原因となる可能性がありますのでなるべく避けてください。
充電中はリモコン及び充電器の充電確認用LEDが赤く点灯します。充電が完了しますとリモコンの充電確認用LEDは
消灯し、充電器の充電確認用LEDは緑色に点灯します。
充電終了後も充電器をコンセントに差し続けると、リモコンの電池が消費すると自動的に充電が開始されます。

リモコンの再起動方法

リモコンの画面が静止したまま、ボタンを押しても操作ができなくなった場合、リモコン下
面右側にあるリセットボタンを細い棒などで1回(約1秒)押してください。リモコンの電源
がOFFになります。再度、リモコンの電源をONにし、使用してください。



注意

リセットボタンを強く押すと破損する恐れがあります。

特長と機能

●標準センサについて

2段階衝撃センサ

システム作動中に車体に衝撃が加えられた場合、弱い衝撃には警告音、強い衝撃には警報音で威嚇します。

リモコンで衝撃感度を24段階から調整できます。（工場出荷時の設定は12です）



※センサの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（幹線道路周辺、工事現場や工場の近く、飛行場周辺、排気音の大きい車の往来、台風その他）による微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にもサイレンが鳴る場合があります。センサの特徴をよく理解し、ご利用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご利用ください。

※一般的にセンサで傷つけなどのいたずらを防ぐことはできません。

※工場出荷時の設定では警告サイレン通知はOFFになっていますので、弱い衝撃時には異常通知はしません。

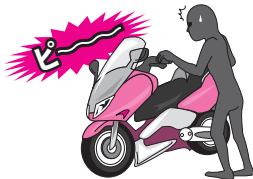
傾斜センサ

システム作動中に車両の傾きをキャッチすると警報音で威嚇します。検出角度は、約6.0度、約9.0度、約12.0度、OFFの4段階からご選択いただけます。

坂道に駐車された場合は、システム作動から5秒後の傾斜角度を基準として傾きを検出します。

リモコンで傾斜角度を4段階から調整できます。

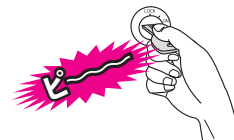
（工場出荷時の設定は9.0度です）



特長と機能

イグニッション警報

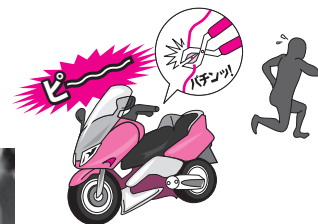
システム作動中に、メインスイッチを操作してエンジンをかけようするとサイレンを鳴らして威嚇します。



電源切断警報（オプション）

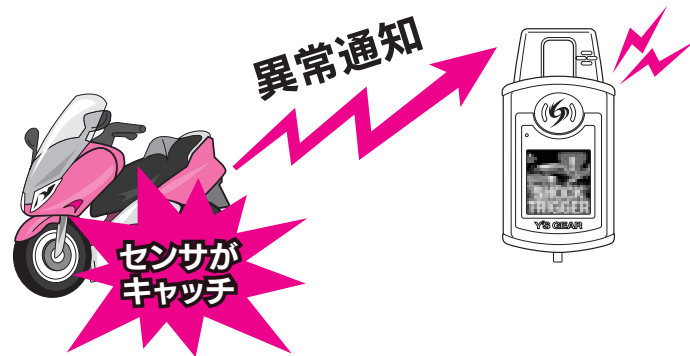
システム作動中、車両とメインユニットの間の電源が切断されてもバックアップバッテリーで警報。

メインユニットのサイレンを鳴らして威嚇します。



異常通知

センサが異常をキャッチした場合、サイレン発報に加え、リモコンに異常があったことを通知することができます。



ヒント

異常通知を約60秒間のリモコンの着信音・画面表示で知ることができます。

センサの異常検知時の動作について

本商品には異常を検知したセンサの種類に応じた発報があります。

	異常検知の種類	警告音／サイレンの鳴り方	リモコンの表示
2段階衝撃センサ	①弱い衝撃を受けたとき	警告音： ピッピッピッピッピッピッ ピッピッピッピッ	 ※工場出荷時の設定では異常通知はしません。
	②強い衝撃を受けたとき	サイレン： ピー————ツ	
傾斜センサ	③バイクを設定角度傾けたとき	サイレン： ピー————ツ	
イグニッションセンサ	④メインスイッチの不正操作があった場合	サイレン： ピー————ツ	
バッテリーセンサ	⑤電源切断があった場合 (オプションのバックアップバッテリーの装着が必要です)	サイレン： ピー————ツ	

※サイレン時間は5秒が初期設定値です。
0、5、15、30秒の設定が選択できます。0秒に設定するとサイレント（消音）モードになります。

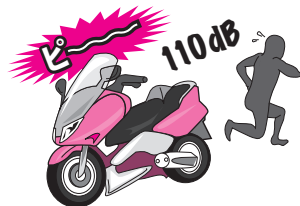
ヒント

●リモコンへの着信は異常検知したセンサが約60秒間表示されます。

●サイレン・音に関する機能

サイレン

本商品のピエゾサイレンは110dBの高音電子サイレンで盗難抑止効果は抜群です。



サイレン時間選択

サイレンによる警報発報時間を0、5、15、30秒で選択できます。（P.31参照）

初期設定：5秒

サイレントモード

サイレン時間を0秒にすることで、センサが異常をキャッチしてもサイレン音を鳴らさなくすることができます。異常はリモコンへの異常通知で知ることができます。（P.31参照）

動作確認音消音機能

システム作動時（解除時）の操作で、一時的に動作確認音を消音することができます。また、リモコンの機能設定でミュートを選択すると常に動作確認音を消音することができます。（P.29参照）

リモコン音変更

リモコンの操作音の変更ができます。操作音は4パターンあり、消音に設定すると操作音は鳴らなくなります。（P.30参照）

●異常確認に関する機能

動作確認LED

本商品にはシステム作動中にセンサが異常を検出してサイレンが鳴った場合にLEDの点滅回数を2回変更することで異常があったことを知らせます。

LED点滅回数	発報履歴内容
1回	発報なし
2回	センサが反応



ヒント

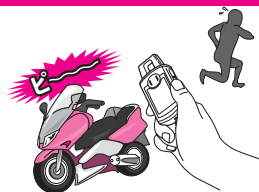
- システム解除時に動作確認LEDは消灯します。
- システム解除もしくはメインスイッチOFFから約24時間経過すると、システム作動時でも動作確認LEDは消費電流を抑えるために消灯します。

●便利な機能

強制サイレン（パニックサイレン）

いざというときに、意外と大きな声では叫べないもの。でも、強制サイレンならリモコン操作で強制的にサイレンを鳴らすことができます。（P.25参照）

* 強制サイレンの作動時間はリモコンによる機能設定で選択された秒数に関係なく約30秒間鳴り続けますが、任意に停止させる事もできます。



迷惑防止機能

本商品には迷惑防止機能が内蔵されています。メインユニット内蔵の各センサが8回異常を検出しサイレンが鳴った場合、8回目の異常を検出した時点からセンサ検知が無効となります（ただし2段階衝撃センサの警告音は鳴ります）。システムを解除し、再度システムを作動することで迷惑防止機能はリセットされます。

レジャー機能

各種作動状態を記憶し、バッテリーが抜かれても電源復帰した時点で記憶状態を再現します（システム作動時にバッテリーが抜かれて、電源が復帰した場合はシステム作動状態で復帰します）。

機能設定された内容を記憶するため、メンテナンス等でバッテリーが外されても設定内容が残っているため再設定する必要がありません。

ヒント

●省電力モードに移行している場合は、移行する前の状態に復帰します。

省電力モード

本商品には省電力モードが備わっています。省電力モードとは、メインスイッチをOFFにしてから約48時間（約2日間）経過すると自動的にバッテリーの負担を軽減させます。

省電力モードに移行するとリモコンからの操作ができなくなります。

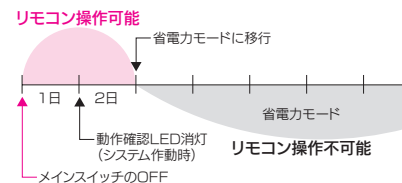
●省電力モード中は、各センサは引き続き警戒を続けます。

ヒント

省電力モードとは？

省電力モード中はリモコンの操作が一切できなくなります。ただし、異常検知時には異常通知を送信します。異常検知後30秒間はリモコン操作が可能となりシステム解除などの操作ができます。

省電力モード中はリモコンからのシステム解除ができません。P.24の「省電力モードから復帰させる方法」を参照の上、省電力モードから復帰させる必要があります。



基本操作

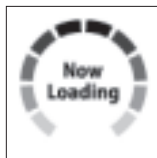
リモコン操作により、システムの作動や解除および機能設定などを行ないます。メインユニットの車両取付、配線接続・充電およびリモコンの電池装着・充電が終了していることを確認してください。

なお、リモコンのボタン操作は、特に指示がない限り1秒ほどしっかりと押してください。また、メインユニットからリモコンに通信を行なっている間は、リモコンの操作が効かない場合があります。通信が終了してから再度操作を行なってください。

→ リモコンの電源を入れるには

リモコンの電源がOFFの状態で行います。

- ① **⏻** ボタンと **⏻** ボタンを同時に 5 秒以上押します。
- ② リモコン画面に起動画面が表示されたあと、待受画面が表示されます。



起動画面

→ リモコンの電源を切るには

リモコンの電源がONの状態で行います。

- ① **⏻** ボタンと **⏻** ボタンを同時に 5 秒以上押します。
- ② リモコン画面に終了画面が表示されたあと、消灯します。



終了画面

→ システム作動させるには

システムを作動させて車両を警戒態勢にします。

- ① 車両のメインスイッチを OFF にします。
- ② リモコンの **▶** ボタンを 1 回押します。
- ③ システムが作動すると“ビッ”と 1 回動作確認音が鳴って、ON になったことを知らせます。
- ④ 約 3 秒後、リモコンに **ARM** と表示されたあと、画面左上に **🔒** が表示され約 3 秒後にリモコン画面は消灯します。



動作確認LED点滅

注意

- エラー音が鳴った場合は再度②からの操作を行なってください（エラー音「ブー」）。
- 作動（の通信）に失敗した場合、P.22の通信エラーの画面が表示されます。再度、作動の操作を行なってください。

消音機能

本商品にはメインユニットからシステム作動音を一時的に鳴らさずに車両を警戒態勢にすることができます。

- ① **✳** ボタンを1回（1秒ほど）押します。
——3秒以内に次の操作を行ってください。
- ② **▶** ボタンを1回（1秒ほど）押すと、動作確認音が鳴らずにシステムを ONします。約3秒後、リモコンに**ARM**と表示されたあと、画面左上に **🔒** が表示され、約3秒後にリモコン画面は消灯します。

注意

- 本商品のリモコンユニットは機能設定などのデータ通信の際には約5秒間のレスポンスがあります。
- エンジン作動中にシステムを作動させることはできません（エラー音「ブー」が鳴ります）。
- リモコンのボタンはゆっくり確実に操作してください。
- 機能設定にてミュートに設定した場合はこの機能にかかわらず動作確認音は鳴りません。（P.29参照）

通信エラー

通信圏外または送受信のエラーなどにより、リモコンとアンテナ（本体）が通信できない状態の場合、リモコン操作時、エラー音とエラー表示でお知らせします。



通信エラーがおこる原因として、下記の事例が考えられます。

- 通信距離圏外で操作している
- 同一周波数（400MHz帯）の電波が周囲で出力されている
- 付近に電波塔や無線機などの強力な電波の発生源がある
- 本体の電源が入っていない（車両のバッテリーが低下している）
- リモコンの電池残量が不足している
- アンテナが金属物の近くにあり電波が遮断されている
- リモコン操作を連続で行っている
- そのほか

付近で無線機器や他の特定小電力無線設備から同一周波数の電波が出力されている場合、電波法の規定によりリモコンの操作は行えません。同一周波数の電波が出力されているときに、操作するとエラーと表示しますので、しばらく時間をおいたり、オートバイに近づくなどした上で、再度操作を行ってください。

複数のリモコンを使用する場合は、システムをONにするとき使用したリモコンのみにアンサーバックします。

そのほか電波の送受信などにより、一時的に操作を行えなくなる場合があります。その場合数秒から数十秒時間をおいて操作を行ってください。

→ システムを解除させるには

システムを解除させて警戒態勢を解きます。

- ① リモコンの  ボタンを 1 回押します。
- ② システムが解除すると“ビッビッ”と 2 回動作確認音が鳴って、OFF になったことを知らせます。
- ③ 約 3 秒後、リモコンに **DISARM** と表示されたあと、画面左上に  が表示され約 3 秒後にリモコン画面は消灯します。



動作確認LED消灯



注意

- エラー音が鳴った場合は再度①からの操作を行ってください（エラー音「ブー」）。
- センサが異常を検知してシステム解除した場合はメインユニットが「ビッビッビッビッ」もしくは「ビッビッビッビッビッ」と鳴ります。

消音機能

本商品にはメインユニットからシステム解除音を一時的に鳴らさずに車両の警戒態勢を解除することができます。

- ①  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
——3秒以内に次の操作を行ってください。
- ②  ボタンを1回（1秒ほど）押すと、動作確認音が鳴らずにシステムをOFFします。約3秒後、リモコンに**DISARM**と表示されたあと、画面左上に  が表示され、約3秒後にリモコン画面は消灯します。

注意

- 本商品のリモコンユニットは機能設定などのデータ通信の際には約5秒間のレスポンスがあります。
- 省電力モード中は、リモコンからのシステム解除ができませんので、省電力モードを解除してからリモコン操作を行ってください。
- 機能設定にてミュートに設定した場合はこの機能にかかわらず動作確認音は鳴りません。（P29参照）

→ 省電力モードから復帰させるには

動作確認LEDのスイッチを3秒間押し続けます。

- ①動作確認 LED のスイッチを 3 秒間押し続けます。
- ②省電力モードが解除されます。
システムが作動中の場合は動作確認 LED が点滅します。



注意

ヒント

- 省電力モード中でも各センサは働きます。省電力モード中にメインスイッチをON→OFFにすると省電力モードから復帰します。
- 48時間経過すると再度省電力モードに移行します。

→ 鳴っているサイレンを止めるには

センサが異常を検知し、サイレンが鳴っているときに鳴っているサイレンを止めることができます。

方法

- ①リモコンの **🔊** ボタンもしくは **🔊** ボタンを押します。
 - ②サイレン音が止まります。
 - ③同時にリモコンへの異常通知画面が消えます。
- ※各センサはサイレン停止から5秒後に復帰します。

注意

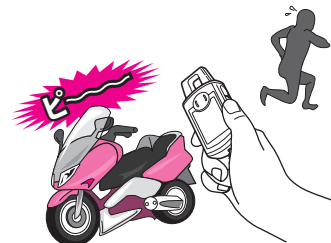
- 異常通知を優先するため解除しにくい場合があります。その場合は異常通知を受信してから操作を行ってください。

→ 強制的にサイレンを鳴らすには(強制サイレン)

本商品は、リモコン操作によって強制的に30秒間のサイレンを鳴らすことができます。犯人への威嚇や周囲への通報を行なうときに使用します。この機能はシステム状態に関係なく使用することができます。

強制サイレンを行います。

- ①リモコンの **🔊** ボタンを5秒以上長押しします。
- ②リモコンの画面上に強制サイレンの画面が表示されサイレンが鳴動します。



解除方法

- ①リモコンの **🔊** ボタンもしくは **🔊** ボタンを1回押します。
- ②リモコンの画面上から強制サイレンの画面の表示が消えサイレンが鳴動を停止します。

リモコンの誤操作を防止するには(ボタンロック)

リモコンのボタンをロックすることで誤ってボタンを押すことを防ぐことができます。ポケットなどにリモコンを入れる場合に便利な機能です。ボタンロックされている状態で、リモコン操作を行うと、ボタンロックの画面でお知らせします。



ボタンロックの ON/OFF 方法

- ①  ボタンと  ボタンを同時に5秒以上押します。
- ② ボタンロックがONまたはOFFされます。

※ボタンロック時にリモコンボタンを押すとボタンロックの画面が表示されます。

リモコンでのセンサ設定と機能設定について

各種設定や操作が行えます。

設定内容は「リモコン操作」、「システム設定」、「便利ツール」の3つのメニューに分けられています。

設定方法「例：サイレン時間 15秒」

- ① リモコンの  ボタンを3秒以上押します。
- ② 「メニュー<リモコン操作>」画面が表示されます。
- ③  ボタンを押すごとに次のメニューへすすみ、 ボタンを1回押し決定します。（例：システム設定）
- ④ 約2秒後、選択されたメニューの各項目が表示されます。
- ⑤  ボタンを押して次の項目へすすみ、 ボタンを1回押し決定します。（例：サイレン時間）
- ⑥ 約2秒後、選択された項目の設定内容が表示されます。
- ⑦  ボタンを押して設定したい内容へすすみ、 ボタンを1回押し決定します。
- ⑧ リモコンに設定中と表示され、設定が完了すると動作確認音が1回鳴ります。
- ⑨  ボタンを1回押すと設定モードが終了し、リモコン画面は消灯します。

※各操作を約15秒以内に行わないと、設定が完了せずに設定を終了します。最初からやり直してください。

※メインユニットと通信できなかった時は④に移行できません。省電力モードに移行していないかを確認し、再度①からやりなおしてください。

各ボタンの意味は以下の通りです。

ARMボタン 「決定」	DISARMボタン 「次のメニュー(項目) へ」	コマンドボタン 「1つ前の段階へ」 「日付・時間等の変更」	パニックボタン 「設定モード終了」
			

設定項目

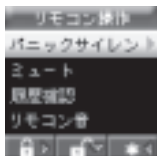
◎ リモコン操作



・パニックサイレン（強制的に警報を鳴らす）

システムのON/OFFに関係なく、リモコン操作で強制的に警報を30秒間鳴らすことができます。

緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時等に便利です。



ヒント

リモコンのボタン操作でもパニックサイレンの操作ができます。（P25参照）
サイレン時間がOFFに設定されていても、パニックサイレンでは30秒間警報が鳴ります。
パニックサイレンの発報時間は変更できません。

パニックサイレンの停止方法

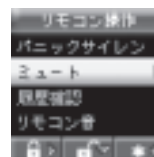
▶ ボタンまたは、◀ ボタンを1回押すと停止します。

・ミュート（動作確認音がいつも鳴らないようにする）（ON/OFF）

※下線部が初期設定です。

システムのON/OFF時に鳴る車両側の動作確認音の有無を選択することができます。

ミュートをONにすると、動作確認音が鳴らなくなり、リモコンにが表示されます。



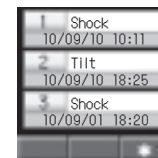
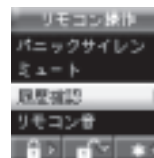
・履歴確認（センサ発報履歴を確認する）

異常を検知したセンサと通知された日時を確認することができます。異常通知の履歴は3回まで記憶することができます。

4回目の異常が通知されると古い記録から上書きされ消去します。

注意：履歴の削除や、特定の履歴の保存はできません。

※2段階衝撃センサの警告は記憶されません。



上段：異常を検知したセンサ
下段：異常を検知した日付と時間

＜履歴の表示＞

センサ	リモコン表示
2段階衝撃センサ	Shock
傾斜センサ	Tilt
イグニッションONセンサ	IGN
電源断線センサ(オプション)	Batt off 1

リモコンでのセンサ設定と機能設定について

・リモコン音（リモコン操作時の音設定）（消音／1／2／3／4）

※下線部が初期設定です。

リモコンのボタン操作時の音を変更することができます。



ヒント

音の変更はリモコンの音のみです。この操作では車両側の動作確認音の音は変更することができません。

リモコンでのセンサ設定と機能設定について

◎ システム設定



・警告サイレン通知（リモコンへの異常通知）（ON／OFF）

※下線部が初期設定です。

2段階衝撃センサが弱い衝撃をキャッチし警告音を発報した時、リモコンに異常を通知（アンサーバック）するか、しないかを設定できます。

ヒント

警告サイレン通知のON/OFFに関係なく、警告音の発報履歴は残りません。



・サイレン時間（サイレン発報時間）（OFF／5秒／15秒／30秒）

※下線部が初期設定です。

サイレンによる警報発報時間を、OFF（0秒）、5秒、15秒、30秒から選択できます。



リモコンでのセンサ設定と機能設定について

・2段階衝撃センサ感度調整（1…12…24）※下線部が初期設定です。

2段階衝撃センサの感度は「1=最小（反応しません）」から「24=最大」の24段階で設定することができます。

ヒント

警告音と警報音の感度を別々に設定することはできません。



・傾斜センサ感度調整（OFF/1/2/3）※下線部が初期設定です。

傾斜センサの感度は以下の4段階で設定することができます。

感度	検出角度
OFF	なし
1	6.0度
2	9.0度
3	12.0度



リモコンでのセンサ設定と機能設定について

・パッシブアーム（リモコンを操作せず自動的にセキュリティを作動させる）（OFF/30秒/60秒/90秒）※下線部が初期設定です。

リモコンで操作を行わなくても、自動的にシステムを作動させる機能です。この機能が作動する時間は30秒、60秒、90秒のいずれかから選択できます。またこの機能を使用しない場合はOFFに設定してください。

【パッシブアームの作動について】

パッシブアームをONに設定した場合、以下のように作動します。

①システムを解除中、メインスイッチをONにします。

②メインスイッチをOFFにします。

③設定時間経過後にシステムは作動します。

※メインスイッチをON→OFFにするたびに設定時間経過後にシステムは作動します。



◎ 便利ツール



・時間設定（時計の設定）

西暦で日時を設定します。発報履歴やタイマーはこの時間を基準とします。



ヒント

リモコン登録の抹消や本体に長時間電源が供給されなくなった場合、設定した日付、時刻がリセットされます。再度、設定しなおしてください。

西暦や日付が設定したい数字よりも大きくなってしまった場合は、一回りするまで **⏮** ボタンで先に送ってください。

・ストップウォッチ

最長99分59秒90まで1/10秒の単位で時間を計測できます。

ヒント

途中までの所要時間（ラップタイム）は記録できません。

計測したタイムを保存することはできません。

ストップウォッチを終了すると計測したデータはすべて消去されます。

電池残量が不足しているときは計測できません。

また計測中に電池残量が不足するとストップウォッチは停止します。

【操作方法】

- ⏮** ボタン：計測の開始/停止
- ⏸** ボタン：記録のリセット
- ⏪** ボタン：メニューへ戻る



・タイマー

設定した時間が経過したことを、アラームでお知らせします。
最長59分59秒まで1秒単位で設定できます。

ヒント

タイマー機能を使用する場合は、時間を設定したあとで、タイマーを作動する操作が必要です。

タイマーの停止方法

リモコンの **⏮**、**⏸**、**⏪**、**⏩** いずれかのボタンを1回押すと停止します。

【設定方法】 セットタイム画面で時間を設定します。



⏮ ボタンで設定を保存します

【操作方法】 タイマー画面でタイマーを作動します。



リモコンでのセンサ設定と機能設定について

・スクリーン設定（リモコン画面のカラー設定）

リモコン画面のカラーを青、緑、赤の3色から選択することができます（初期設定はスクリーン1：青となっています）。

項 目	カラー
スクリーン1	青
スクリーン2	緑
スクリーン3	赤



トラブルシュート

故障かな？と思ったら

症状と原因	対 策
☆リモコンが作動しない、ボタンを押しても反応しない ・省電力モードに移行している ・リモコンを操作したのに反応が遅い ・リモコン電源が入っていない ・水の浸入があった ・リモコンの電池がない ・リモコンのフリーズ	省電力モードを解除してください。 リモコンを操作した後、メインユニットからの信号をチェックしていますので、操作してから2～3秒遅れます。 リモコンの電源立ち上げ操作を行ってください。 ※リモコンの電池が無くなり電源がOFFになりますと、充電後にリモコンの電源をONにする操作が必要になります。 お買い求めの販売店に持ち込み修理を依頼することをお勧めします。（水の浸入による故障は保障期間内であっても有償修理となります。） リモコンに十分な充電を行ってください。 リモコン下部のリセットボタンを押して再起動させ、再度リモコンの電源をONにしてください。 ※リセットボタンを押しても、自動でリモコンの電源はONになりません。
☆リモコンを紛失した	取り扱い説明書別紙②「リモコンの登録、削除方法、強制解除方法」を参照ください。

トラブルシュート

☆叩いてもサイレンが鳴らない

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・システムをONにしてから5秒以上待っていない ・車体を揺らしている ・衝撃感度が低すぎる ・傾斜センサがOFFになっている ・メインユニットの固定方法が最適ではない ・迷惑防止機能が働いている | システムをONにしてから5秒以上待ってください。
揺れには反応しません。
2段階衝撃センサの感度を上げてください。
傾斜センサの検出角度を設定し直してください。
取り付け説明書どおり固定してください。
一旦システムをOFFにしてから再度システムをONにして、迷惑防止機能を解除してください。
サイレン時間を設定し直してください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・サイレン時間がOFF(0秒)となっている | |

☆イグニッションセンサが動かない

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・システムをONにしてから5秒以上待っていない ・イグニッション線の接続不良 ・迷惑防止機能が働いている | システムをONにしてから5秒以上待ってください。
イグニッション線を確実に配線してください。
一旦システムをOFFにしてから再度システムをONにして、迷惑防止機能を解除してください。
サイレン時間を設定し直してください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・サイレン時間がOFF(0秒)となっている | |

☆勝手にサイレンが鳴る

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・メインユニットの固定が不十分 ・電源線の接続不良（オプション/バッテリー装着の場合） ・2段階衝撃センサの感度が敏感すぎる。 | 確実に固定してください。
電源線を確実に接続してください。
2段階衝撃センサの感度を絞ってください。 |
|---|--|

☆通信エラーが出る

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・イグニッション（メインスイッチ）がONになっている ・省電力モードに移行している ・本体の電源が入っていない ・通信距離圏外で操作している ・同一周波数（400MHz帯）の電波が周囲で出力されている ・付近に電波塔や無線機などの強力な電波の発生源がある ・リモコンの電池残量が不足している ・アンテナが金属物の近くにあり電波が遮断されている ・リモコン操作を連続で行っている | イグニッション（メインスイッチ）をOFFにしてください。
省電力モードを解除してください。
電源取得先を確認してください。
十分に通信できる距離まで近づいてください。
少し時間をおいてから操作してください。
操作する場所をかえてください。
リモコンに十分な充電を行ってください。
アンテナ設置場所を変更してください。
少し時間をおいてから操作してください。 |
|--|--|

☆リモコンの充電ができない

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・充電器とリモコンの接触不良 ・充電端子の逆接続 ・充電器アダプタの接続先に電源がきていない | コネクタの差し込み状態と、コンセントへの差し込み状態を確認してください。
製品故障（コネクタ破損）の可能性があります。
ヒューズ付きコンセント等、コンセント自体に電源が来ているか確認してください。 |
|--|--|

☆リモコンの電池がすぐに無くなる

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・十分な充電ができていない ・リモコン電池の劣化 | リモコンへの充電時間が不足しています。
リモコン電池の交換をしてください。 |
|---|--|

☆リモコンで操作はできるがアンサーバックが来ない

- | | |
|--|---------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・リモコン操作を連続で行っている（受信中に送信している） | 少し時間をおいてから操作してください。 |
|--|---------------------|

上記のテストを行っても正しく作動しない場合は取付販売店へお尋ねください。

保証とアフターサービス

保証書

この商品の保証書は次頁に添付されています。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、保証書の記載内容により修理いたします。

保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店、または（株）ワイズギアにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により有料修理いたします。

修理のためお買い上げの販売店にお持ちになるときは、メインユニットとリモコン、アンテナユニット、動作確認LED、サイレン等を一緒にお持ちください。

リモコンを紛失、破損した場合

お買い上げの販売店、または（株）ワイズギアにご相談ください。

お願い

保証書に必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

オプション品および補修部品

①リモコンユニット	Q5K-YSK-065-Y02
②バックアップバッテリー	Q5K-YSK-065-Y05
③サイレン	90793-67129

●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア



コーワイズ
0570-050814

オープン時間 月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:30
◎一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。
◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。

〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103番地 FAX.053-443-2187

※カスタムパーツ装着の場合、オートバイ本体のクレーム及びメーカーサービスを受けられない場合があります。

製品仕様

●電源電圧	DC12V
●平均消費電流（警戒時）	約9mA
●省電力モード時平均消費電流（警戒時）	約5mA
●平均消費電流（警報時）	約120mA
●サイレン音圧	約110dB
●動作周囲温度（本体）	約-40℃～+85℃
●動作周囲温度（リモコン）	約0℃～+40℃
●メインユニット外形寸法	約78×74×24mm
●メインユニット質量	約125g
●充電時間	約2.5時間
●リモコン連続作動時間	約240時間

操作一覧

リモコンのボタンの操作は、特に指示がない限り1秒ほどしっかりと押してください。メインユニットからリモコンに通信を行なっている間は、リモコンの操作が効かない場合があります。通信が終了してから再度操作を行なってください。
各操作の詳細につきましては、本書記載の各項目の内容をご確認ください。

機能	確認音	リモコン操作
システムON	ピッ	
システムON(1回のみ消音)	—	 → 
システムOFF	ピッピッ	
システムOFF(1回のみ消音)	—	 → 
システムOFF(センサ発報後)	ピッピッピッピッ	
システムOFF(迷惑防止機能作動後)	ピッピッピッピッピッ	
パニックサイレン	—	 (5秒以上)
システム設定状態確認	—	 → 
ボタンロック	—	 +  (5秒以上)
リモコン電源ON/OFF	—	 +  (5秒以上)

※リモコン操作時、リモコンから「ピッ」と音が鳴ります。リモコン音が「消音」に設定されている場合、音は鳴りません。

発売元



△ 安全に関するご注意

商品正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱いの注意事項をご確認ください。ご不明な点は販売店にお問合せ下さい。

●商品に関するお問い合わせ



インターネットホームページ
<http://www.ysgear.co.jp/>

株式会社ワイズギア



0570-050814

オープン時間 月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:30
●一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。
●IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。

●商品の仕様及び価格は予告無く変更される場合があります。●商品は予告無く販売を終了させていただきます場合があります。●カスタムパーツ装着の場合、オートバイ本体のクレーム及びメーカーサービスを受けられない場合があります。●ヤマハ発動機統合システムの中でISO14001を認証取得しました。

〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103番地 FAX.053-443-2187